

＜第 5 回＞ 道内学生の製品化・事業化アイデア実現支援事業

学生プレゼンテーション 実施要領

- 開催日 令和 4 年 1 2 月 7 日（水） 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0
- 場 所 ニューオータニイン札幌 2 階 鶴の間 （札幌市中央区北 2 条西 1 丁目）
- 発表者 5 校／7 グループ ※別紙 1 「発表アイデア一覧」を参照願います
- 発 表
 - ・学生は、PowerPoint を使用したプレゼンテーションを行います。
 - ・1 グループ発表毎に質疑応答を行います。
 - ・1 グループの割当時間は、自己紹介含め 1 0 分と致します。質疑応答は 2 分です。
- 支援申込
 - ・当日、ご参加者の企業・金融機関に「面談申込シート」を配布します。
 - ・全てのプレゼン終了後、面談申込シートを回収します。
 - ※当日提出が難しい場合は、後日で問題ございません。
- 支援に向けた発表者（学生）との打合せ
 - ・支援申出側（企業・金融機関）と発表者（学生グループ）の面談は、事務局がセッティングします。（学生グループの意向により、面談に応じて頂けない場合があります）
- 注意事項
 - ・学生が発表する技術・アイデアの「盗用」は固く禁じます。
 - ・学生が発表する技術・アイデアに関する知的財産権（登録等を出願する権利を含む）等は、発表者に帰属します。（別紙 2 「参加規約」をご確認ください）

＜タイムスケジュール＞

1 3 : 3 0	開会・主催者挨拶
1 3 : 4 0	当日の進行説明、支援申出方法の説明
1 3 : 4 5	①北海学園大学 マスク着用時の顔の可視化によりコミュニケーションを促進するシステムの開発
1 4 : 0 0	②北海道大学 生分解性プラスチックに作成したバイオフィルムの社会実装とマイクロプラスチックの回収
1 4 : 1 5	③北海道大学 グリーンプレミア農業に向けた電気化学的 CO ₂ 回収装置の開発
1 4 : 3 0	④北海道科学大学 超指向性音によるエゾシカと車両の衝突回避のための車載スピーカーシステム開発
1 4 : 4 5	⑤北海道情報大学 博物館等文化財の展示現場に於ける文化財を災害から守る展示ケースの制作
1 5 : 0 0	⑥旭川高専 持続可能なファッション業界の実現に向けたファッションプラットフォームの構築
1 5 : 1 5	⑦北海道大学 Beeber Global 国際的なボランティアと日本のホストを繋ぐ多言語のオンラインプラットフォーム
1 5 : 3 0	閉会

※プレゼンテーションの順番が変更となる場合もございますのでご了承ください。

- 準備金 プレゼンテーション終了後、学生グループには 50,000 円／1 グループを支給致します。